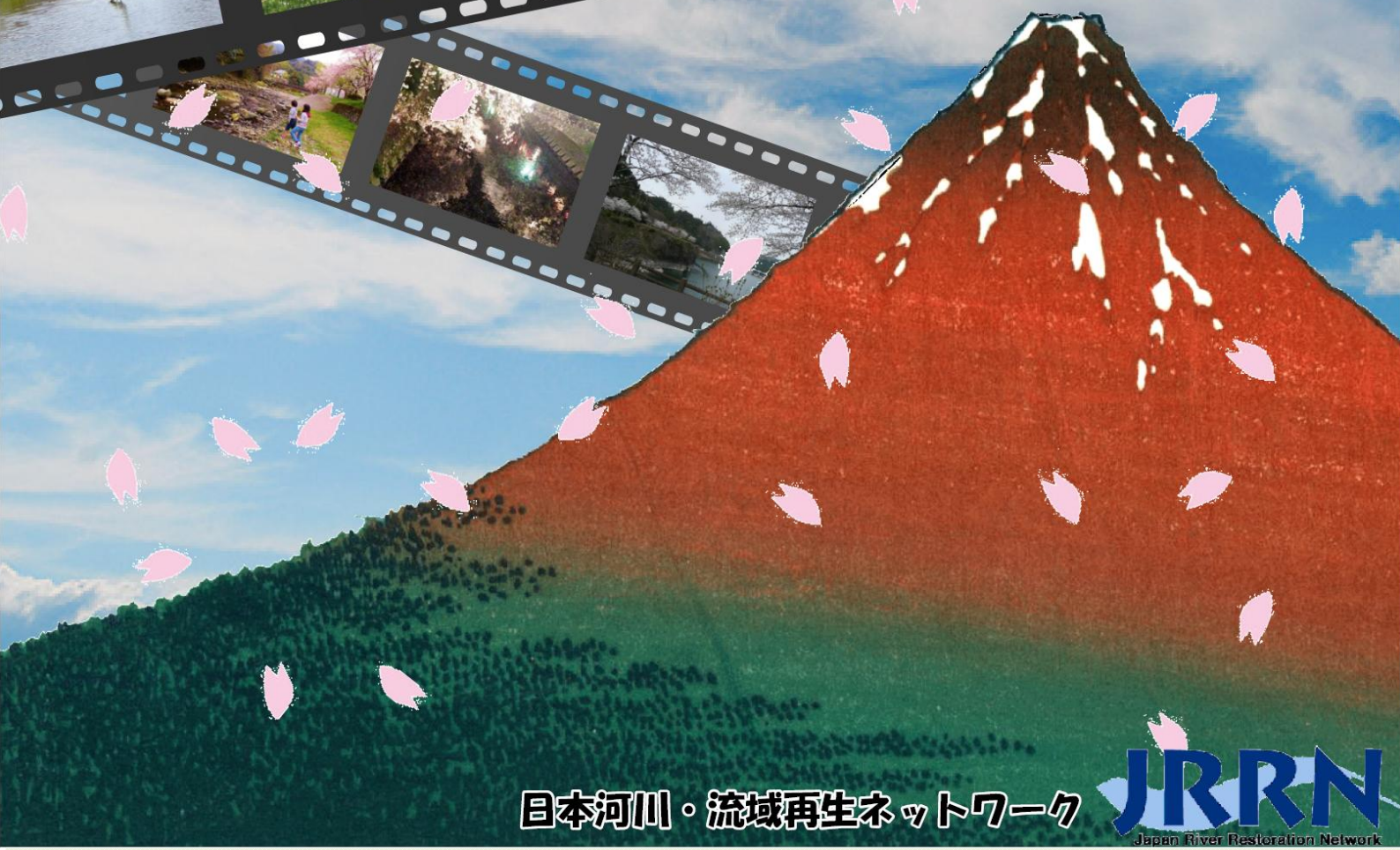


桜のある水辺風景 2013

応募写真集



はじめに



今年の桜の開花は全国的には少しゆっくりと咲いたのではないのでしょうか。開花してから少し冷え込んだおかげでゆっくりと桜を楽しめた地域もあったのではないですか。今年も沢山の方々から「桜のある風景 2013」に素晴らしい桜の作品をお寄せいただきました。有難うございます。やはり桜は水辺に合いますね。全国各地に桜が植えられ、大切にされているのだと感動しています。皆さんの写真からそれが伝わってきます。

ところで桜の開花を決める標準木には（ヒカンザクラ）と染井吉野（ソメイヨシノ）が使われることが多いようです。暖かい沖縄の島々（名瀬、与那国島、石垣島、宮古島、久米島、那覇、南大東島）では緋寒桜を使っています。なぜかというとは桜は自生種で約 100 種以上、品種改良された園芸種を含めると約 600 種以上もあるといわれています。それぞれ開花時期が異なり最初に咲く寒桜から約 1 ヶ月以上楽しめるのが桜からです。基準となる木を決めないと開花をいつと定めるかわからなくなってしまうからです。

染井吉野は江戸時代、享保年間に染井村の植木職人伊藤伊兵衛政武がエドヒガンザクラとオオシマザクラを人工交配して作った園芸種の代表品種となりました。吉宗の享保の改革の時に整備された飛鳥山の桜として植えられてから、冬の寒さがきびしいほど一斉に咲く見事さと、一斉に散る潔さから桜の大人気樹種となりました。何といっても葉が出る前の枝にいきなり花が咲く様子が人々の感動を呼び起こしたのだと思います。この桜の見事さは明治時代に訪れていた外国人にも感動を呼び起こし、アメリカの首都ワシントンのポトマック河畔に桜を送ることに繋がりました。当時の東京市長尾崎行雄が荒川堤の桜を送ってから、ちょうど 100 年が経過し、今年新たに荒川とポトマック川の姉妹河川提携が結ばれました。

桜の色も沢山あり荒川の五色桜が有名ですが、白色、緑色、黄色、黄緑、桃色、赤色など本当にたくさんあります。このような桜を是非楽しみ続けていきましょう。これからも素晴らしい写真をお願いいたします。

土屋 信行

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局長

企画趣旨

JRRN では、水辺の美しさや人々との関わりについて考えるきっかけづくりを目指して、**2013 年**に撮影された「桜のある水辺写真」を皆様より募集し、**17 名**の方々より**46 点**の素敵な写真をご応募頂きました。

- テーマ： 「桜のある水辺風景 2013」 ※2013 年に撮影された写真限定
- 作品規定：
 - ・応募はお一人何点でも可能です。ただし応募作品は自ら撮影したものに限りです。
 - ・写真サイズはハガキサイズ程度の印刷でも鮮明なレベルとします。
 - ・個人が特定できる人物画像が含まれる場合は被写体の方の了承を得てください。
- 応募期間： 平成 25 年 3 月 1 日（金）～平成 25 年 5 月 31 日

本冊子では、ご応募頂きました皆様のお写真を、桜前線とともに南（熊本）から北（北海道）の水辺の順に、撮影者のコメントと共にご紹介させていただきます。

応募作品

桜まつりを感じさせる季節 in 下笠ダム！

地元の桜まつり実行委員会が4月の第1日曜日に桜まつりを開催します。標高約330mの場所に下笠ダムがあり地理的特徴として、桜がいつ咲くかわからないので、いつも気にしています。今年は、3月末に桜が散ったため、桜まつりのときは桜が咲いていませんでした。来年は桜が咲いていることを期待しています。ちなみに桜まつりは、桜と水辺を活かした催物ですが、今年で25回目が開催されました。みなさんも中津江村へ来てください。



撮影◎梅崎健史

2013年3月 熊本県小国町・下笠ダム



撮影◎梅崎健史

2013年3月 熊本県小国町・下笠ダム



撮影◎渡部秀之

2013年3月 福岡県うきは市・巨瀬川

筑後川支川巨瀬川（流川の桜堤）

3月22日放送のNHKニュース9のエンディングで、放映された場所です。そのテレビを見た翌々日に出掛けてきました。福岡県が管理するこの河川区間でも、昨年7月の九州北部豪雨で大きな災害が発生しました。河岸で復旧工事が行われている、その脇で、耳納連山の緑を背景にして咲き誇る満開の桜並木を楽しむ多くの人が居ました。

九州北部豪雨で被災した矢部川の基盤漏水箇所での復旧工事と桜並木

昨年7月の九州北部豪雨では、矢部川は、堤防決壊のほか、各所で漏水などの被害が発生しました。この箇所も堤内地側で噴砂現象があり、出水直後に応急復旧工事として、釜段と押え盛土を兼ねた大型土嚢と碎石の設置が川裏側で行われました。写真撮影時には、漏水対策としての災害復旧工事が川表側で実施中で、鋼矢板打設と低水護岸工事が行われていました。



撮影◎渡部秀之

2013年3月 福岡県みやま市・矢部川



撮影◎渡部秀之

2013年3月 福岡県みやま市・矢部川

筑後川支川高良川（百年公園）

高良川が筑後川に合流する一帯は、久留米市制100周年を記念して整備された公園となっています。市町合併により久留米市域は、筑後川に沿って約40kmにも広がった中で、当公園は、久留米市の象徴としての筑後川を身体中に感じる場所となっています。



撮影◎渡部秀之

2013年3月 福岡県久留米市・高良川



撮影◎渡部秀之

2013年3月 福岡県久留米市・高良川

筑後川山田堰

山田堰は、筑後川中流部にある三つの農業用井堰の一つで、右岸の旧筑前領内に用水を供給するために江戸時代に築造されました。用水路の途中には、3連水車が設置され、その光景は、当地の観光風物詩となっています。

なお、山田堰は、昨年、土木学会の選奨土木遺産に選定されています。

右岸取入れ口上部にある水神社の鳥居越しに見る山田堰は、筑後川と一体となって、御神体そのもののよう感じられます。



撮影◎渡部秀之

2013年3月 福岡県朝倉市・筑後川



撮影◎渡部秀之

2013年3月 福岡県朝倉市・筑後川



撮影◎渡部秀之

2013年3月 佐賀県佐賀市・嘉瀬川

嘉瀬川石井樋（象の鼻）

嘉瀬川石井樋は、江戸時代に、佐賀鍋島藩家老の成富兵庫茂安が、多布施川を介して佐賀城下に用水を安定的に分派するために築造した施設で、平成17年に皇太子殿下御成婚記念事業（石井樋地区歴史的な水辺整備事業）として、復元整備されました。

象の鼻は、石井樋を構成する一施設で、嘉瀬川の水流を和らげ、多布施川への土砂の流入を防ぐなどの役割を担っています。

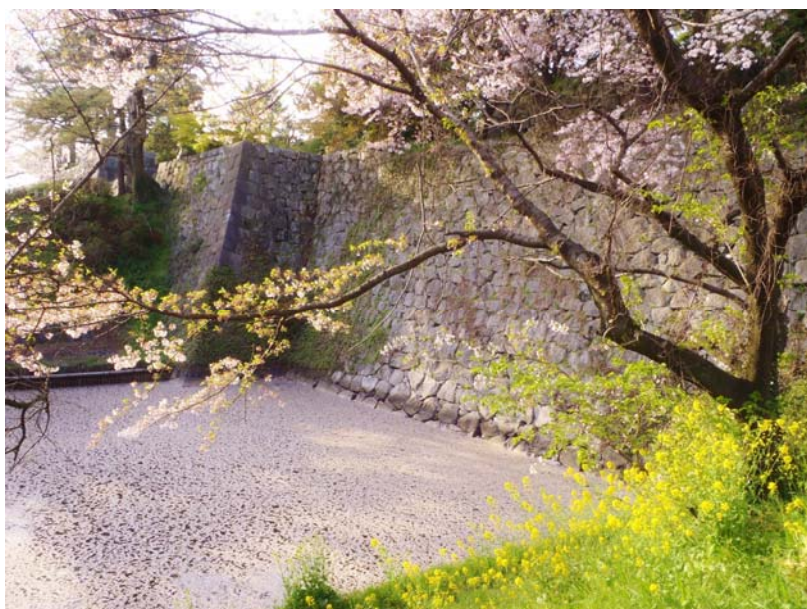
高良川の桜堤

百年記念公園を流れる高良川の桜堤の上には多くの花見客。筑後川流域一の花見の名所の一つです。高良川に人が下りてくる季節までもうすぐです。



撮影◎坂本貴啓

2013 年 3 月 福岡県久留米市・高良川



撮影◎坂本貴啓

2013 年 3 月 福岡県久留米市・久留米城址

お堀一面の桜絨毯

舞い落ちた花びらが久留米城のお堀一面に広がり、二度花見を楽しませてくれています。

犬鳴川に春が来た！

犬鳴川の上流域で川沿いの桜を眺めていたら桜並木の向こうから子供がやってきて水切り。桜の彩に誘われて川に子どもも戻ってきました。



撮影◎坂本貴啓

2013 年 3 月 福岡県宮若市・犬鳴川



撮影◎坂本貴啓

2013 年 3 月 福岡県直方市・遠賀川・彦山川

桜の導流堤

真ん中の桜の導流堤を挟んで左が遠賀川、右が支流の彦山川。遠賀川水辺館の屋上から 2 つの川を眺めることができます。川に沿ったピンクの背骨が川の春を演出しています。

尾張が誇る桜並木

愛知県岩倉市を流れる五条川は「日本さくら名所 100 選」にも選定されています。桜まつり期間中はライトアップもされ、露店も 100 を超えるほど並んで、今年も大勢の花見客で賑わいました。

ソメイヨシノ、シダレザクラ、ヤエザクラなど約 1,400 本の桜並木が水面に映り、桜が舞い散り花びらが五条川を流れていく様子も楽しめます。

今年は春の嵐など天候にはあまり恵まれませんが、咲き始めから満開、夜桜と何度も楽しみました。



撮影◎水野真紀子

2013 年 4 月 愛知県岩倉市・五条川



撮影◎水野真紀子

2013 年 4 月 愛知県岩倉市・五条川



撮影◎水野真紀子

2013 年 4 月 愛知県岩倉市・五条川



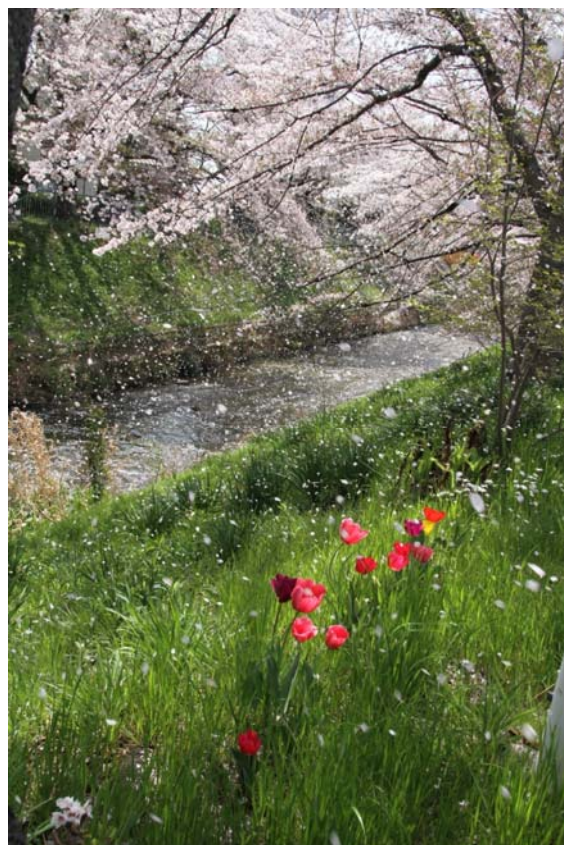
撮影◎滝宏志

2013 年 3 月 愛知県名古屋市・堀川

きれいだよ

名古屋市の中心市街地を流れる堀川です。水面に映る橋は、納屋橋です。

堀川は江戸時代に名古屋城築城にあわせて掘られました。納屋橋は堀川が掘られた時に架けられた7つの橋のうちの一つです。鉄製のアーチ橋に架け替えられて 100 年を迎えました。風にまだ冷たさを感じる日でしたが、満開のコヒガンザクラにうながされるように手をつなぐ二人に春を感じました。



撮影◎滝宏志

2013 年 4 月 愛知県名古屋市・堀川

curtain call (カーテン コール)

名古屋市の中心市街地を流れる堀川の上流区間です。この区間は遠く木曽川の水を庄内川に注ぎ、それを堀川に流すために人工的に開削された水路の一部です。明治時代にこの工事を手掛けた黒川治愿（はるよし）の名をたたえ、彼の名から別名を「黒川」と呼ばれています。両岸には桜が植えられており、満開になると桜の花のトンネルになります。満開の桜の花が終盤を向かえ、花びらが風に誘われて舞い散り、curtain call (カーテン コール) を受けているようでした。



撮影◎前村良雄

2013 年 3 月 静岡県三島市・源兵衛川

源兵衛川の水辺遊歩道とさくら

静岡県三島市市街地を貫流する源兵衛川、水辺の遊歩道にもたれかかるような枝振りに満開の桜、平日であるが観光客や地元の人々の散歩コースになっている。一時の癒しの空間である。

狩野川さくら公園

伊豆半島を北流する狩野川のほとりの桜並木です。毎年大勢の花見客が訪れます。富士山も頭をのぞかせています。



撮影◎加藤晴敏

2013年3月 静岡県伊豆の国市・狩野川



撮影◎加藤晴敏

2013年3月 静岡県伊豆の国市・狩野川

ようやくお目にかかった河津桜

本州で最も早く開花するという河津桜。長年の願いがようやく叶い、満開のお花見を満喫することができました。



撮影◎和田彰

2013年3月 静岡県賀茂郡・河津川



撮影◎和田彰

2013年3月 静岡県賀茂郡・河津川



撮影◎木村達司 2013年4月 東京都中央区・浜離宮庭園
潮入の池とサクラと高層ビル

浜離宮恩賜庭園は、再開発で高層ビルが建ち並ぶ汐留地区のすぐ先にあり、かつては徳川將軍家の鷹狩場、そして、後に別邸となっていたところです。明治以降は皇室の離宮となり、戦後、東京都に下賜されました。江戸にいくつか見られた潮の満ち引きを利用した潮入の池も、いまではここだけになってしまったとのこと。この日はサクラ見物に多くの人が訪れていましたが、江戸という時代が残した文化遺産に、心静かなひとときを堪能することが出来ました。



撮影◎和田彰 2013年3月 東京都品川区・目黒川

ピンクの川があるんです

今年も目黒川がピンクに染まりました。潮の満ち引きで上に行ったり下に行ったり。こんなピンクの川、他にもあるのか気になります・・・

みずが再生されるところ



撮影◎上原励 2013年3月 東京都大田区・森ヶ崎水再生センター

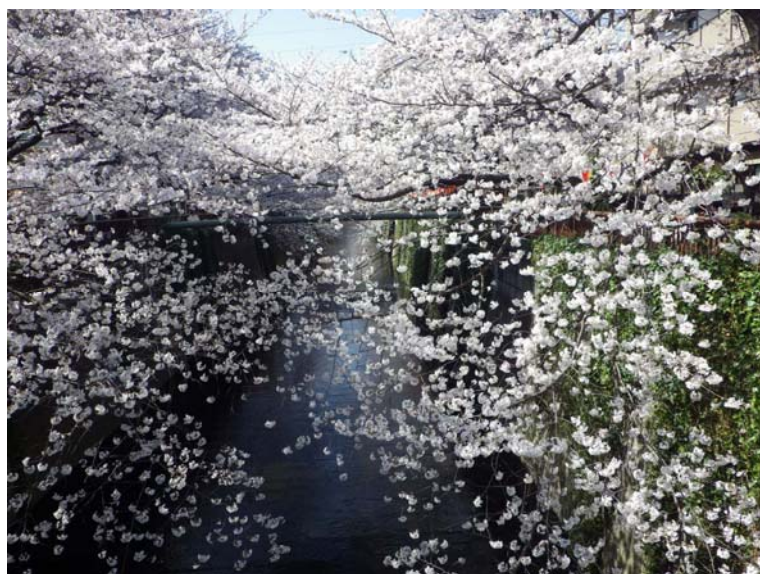
これが「桜のある水辺風景」なのか？水面が見えないじゃないかとお感じかと思います。この桜が植栽されている場所は、東京の昭和島にある「森ヶ崎水再生センター」の敷地です。東京に住む皆さんが使った水の出口の一つです。ですから、東京の水辺の桜に間違いはありません。

撮影場所は施設の屋上です。水再生センターには通常は一般の人は立ち入れません。街灯の奥に見えるのが、東京モノレールですので、一般の方は、昭和島駅付近で、モノレールからこの桜を見ることができます。この屋上には、毎年渡り鳥のコアジサシがたくさんやってきて、営巣、育雛をします。その営巣環境を保全する活動、リトルターン・プロジェクトのお手伝いをしてきましたので、立ち入りを許可されました。リトルターン・プロジェクトの詳細は下記 URL をご覧ください。

<http://www.littletern.net/>

目黒川を覆い隠す桜

東京都内で大変にぎわいを見せている中目黒界隈。そのすぐそばを流れる目黒川は桜の名所となっています。この3/22（日）にもたくさんの人々が桜を見物したり、通りのテラスで食事、あるいは散歩をたのしんでいました。



撮影◎前村良雄

2013年3月 東京都目黒区・目黒川

大川には橋と船と桜がよく似合う

川沿いも水面もお花見客で大賑わい。やはり、隅田川には船と橋がお似合いです。それにしても、このシーズンの水上バスは、満員電車以上の混雑度。



撮影◎和田彰

2013年3月 東京都中央区・隅田川



撮影◎和田彰

2013年3月 東京都中央区・隅田川

別れの桜

この4月に約8年の東京生活に別れを告げて自宅のある名古屋に帰りました。東京では毎年シーズンになると、近くの神田川へ行って1人桜を眺めていましたが、今年は特に東京での桜は見納めとの思いで咲き始めから3回も通いました。桜も私を見送ってくれているようでした。



撮影◎佐合純造

2013年3月 東京都中野区・神田川



撮影◎佐合純造

2013年3月 東京都中野区・神田川



撮影◎佐合純造

2013年3月 東京都中野区・神田川



撮影◎佐合純造

2013年3月 東京都中野区・神田川

都会の”小川”で

コンクリート護岸内の石神井川河原で『春の水辺の生き物たち』観察会の開催です。小学生と父母たち 35 人が集まりました。川に入りたくて長靴を履いた子もいます。久々の河原は菜の花が終わったが、芽生えはじめた草々のいさけを感じます。この後、ぬるみかけた小川に入って水を採りました。そして顕微鏡にかけて覗けば小さな水生昆虫が動き回っています。図鑑どおり！！ワイワイガヤガヤ親子とも夢中です。見上げれば桜が満開です。



撮影◎佐藤英雄 2013 年 3 月 東京都練馬区・石神井川



撮影◎佐藤英雄 2013 年 3 月 東京都練馬区・石神井川

アパートとサクラと水陸両用バス

旧中川に面したアパートの前で花見を楽しむ人たちの前を、今年の 3 月から運行されている水陸両用バスがゆっくりと通り過ぎていきます。東京・下町の水辺に、何ともユニークな光景が出現しました。この水陸両用バスが単なる物珍しさで終わるのか、新たな水辺のにぎわいを演出するのか、しばらく見守りたいと思います。



撮影◎木村達司

2013 年 3 月 東京都江戸川区・旧中川



撮影◎菅田純一

2013 年 4 月 東京都江東区・大横川

あわあわと花ひらく音

「桜の花がひらく音は、小さく息をつくようだろう。」

水わける音さえ聴こえてくる静かな電気ボートが満開の大横川を渡る。」

昨年、河川の取材を通じて、江戸東京再発見コンソーシアム・舟めぐり事業の電気ボートの静かさに驚いた。花曇りのなか、川面の少しひんやりとした空気、そして水音。花は目で愛でるものかもしれないが、エンジン音のない中での花見は、あたかも花の開く音さえ聴こえるような風情がある。

静かな桜の咲く朝

利根川で育ち、東京へ出てきて出会った川が、野川です。国分寺崖線からの湧水により成り立つこの小河川は、都市河川としては、自然を残す貴重なものと思っています。野川の生きものたちと共に、この風景をいつまでも見続けたいものです。



撮影◎立川周二

2013 年 4 月 東京都世田谷区・野川



撮影◎立川周二

2013 年 4 月 東京都世田谷区・野川



撮影◎坂本貴啓

2013 年 3 月 東京都江戸川区・荒川

スカイツリーと荒川の桜並木

羽田空港に向かう高速バスの中から偶然撮影した一枚。スカイツリーまで一枚に収めると荒川の桜並木はまるでミニチュアみたいです。

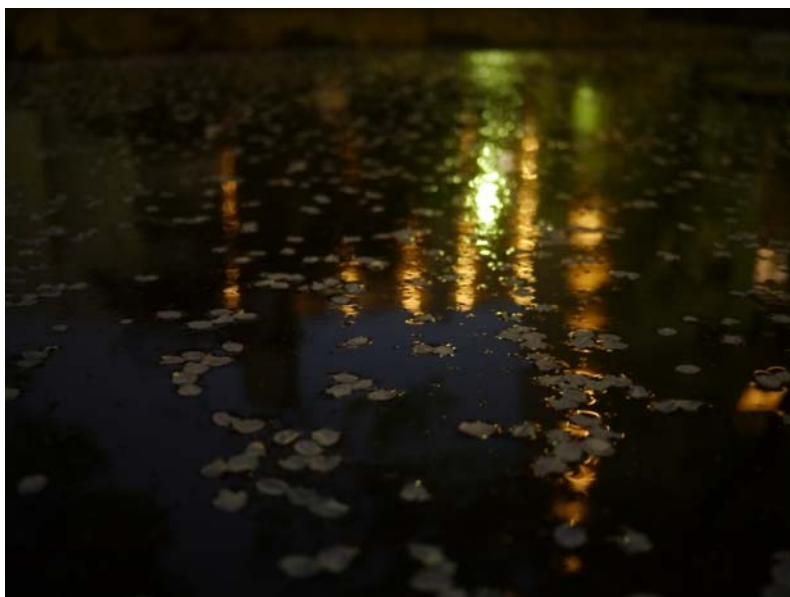
花落知多少

3 月、早咲きの桜
満開の後、二度の嵐
静けさ戻った夜道には
桜の舞い降りた水たまり
きらきら光る花びらは
川を染めて流れるだろう



撮影◎稲葉修一

2013 年 3 月 埼玉県さいたま市・川の脇道



撮影◎稲葉修一

2013 年 3 月 埼玉県さいたま市・川の脇道



撮影◎高橋達也

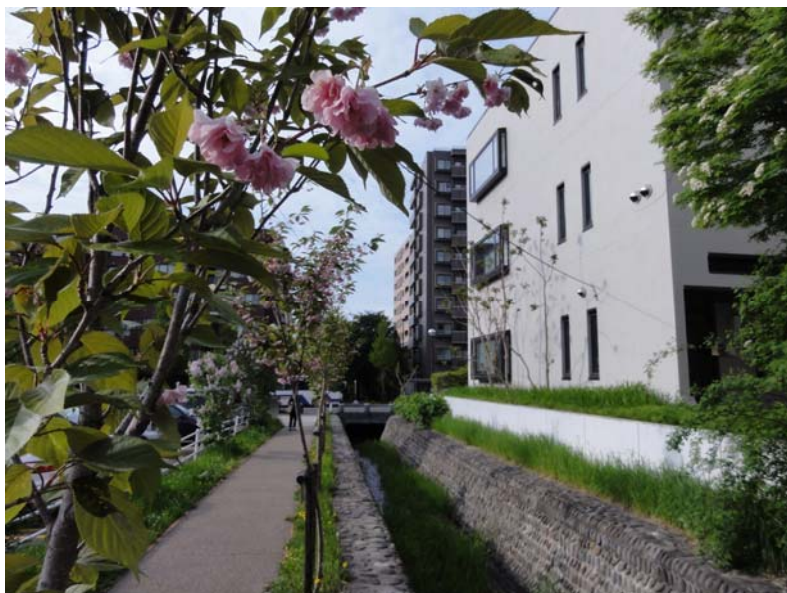
2013 年 3 月 埼玉県朝霞市・黒目川

描きたくなる川の風景

2011 年度土木学会デザイン賞優秀賞を受賞された黒目川は、市民参加の多自然川づくりで良好な環境や景観が維持されている川である。黒目川沿いの桜並木が満開、中学生が堤防で写生していた。風景画の題材として描きたくなる川の風景は、「いい川」の証しではないでしょうか。

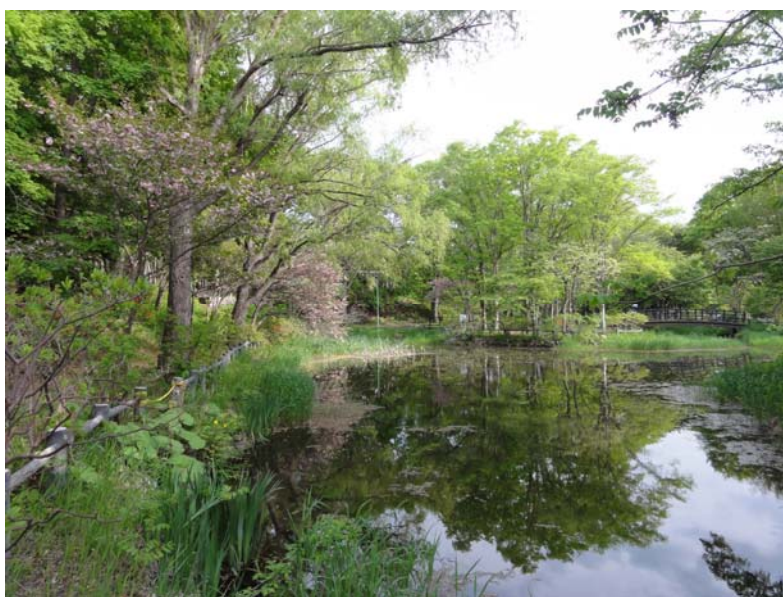
ちょっと遅れた桜のある？水辺

桜のある水辺を求めて、真駒内川から取水している真駒内用水を訪れました。真駒内用水は明治 12 年にエドウィン・ダンの提唱により造られた大かんがい用水で、北海道開拓の歴史を感じられる空間です。今年の北海道は GW に雪が降るなど寒い日が続き、桜の開花時期は例年よりも遅れました。ベストタイミングを逃しましたが 5 月下旬でも、わずかながら遅咲きのエゾヤマザクラなどが楽しめました。来年はぜひとも満開の桜を狙いたいと思います。



撮影◎丹内道哉

2013 年 6 月 北海道札幌市・真駒内用水



撮影◎丹内道哉

2013 年 6 月 北海道札幌市・真駒内用水

おわりに

2010年からスタートした本企画も今年で4年目を迎え、たくさんの方々より素敵なお写真をご応募頂き、誠にありがとうございました。特に2013年の桜前線は、記録的に早く、またゆっくりとしたスピードで日本列島を北上し、「年度末でお花見を逃した」というお声も多数頂きました。

皆様が撮影した桜の水辺写真を通じ、日本の水辺の魅力を再認識し、更なる河川再生に向けた取組みの後押しとなれば幸いです。

来年（2014年）も本企画を予定しておりますので、皆様から多数のご応募をお待ちしております。

○応募作品のお取り扱いについて：

今後、ご応募頂きました写真を、JRRNが発行する「手引き」等の冊子やJRRNウェブサイト等で使用する場合は、使用目的や掲載媒体について予め応募者にご連絡をさせて頂き、撮影者了承の上で使用させて頂きます。

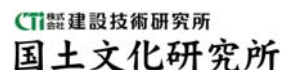
日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、良好な河川の保全・再生が創り出す健全な水循環系及び歴史・文化と共存する地域社会の実現に向け、河川再生について共に考え次の行動へと後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動しています。また、「アジア河川・流域再生ネットワーク（ARRN）」の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、同時に海外の素晴らしい取組みを日本国内に還元する役割を担います。

桜のある水辺風景 2013 応募写真集

発行日	2013年6月20日
発行	日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）
事務局（連絡先）	〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 新川中央ビル7階 公益財団法人リバーフロント研究所内 Tel: 03-6228-3862 Fax: 03-3523-0640 E-mail: info@arrn.net , URL: http://www.a-rr.net/jp/

JRRN事務局は、「アジアにおける河川再生のためのネットワーク構築と活用に関する研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。





日本河川・流域再生ネットワーク